



# “手数料・使用料の適正化”に関する論点

2019年7月26日

シニアコンサルタント 下垣彰

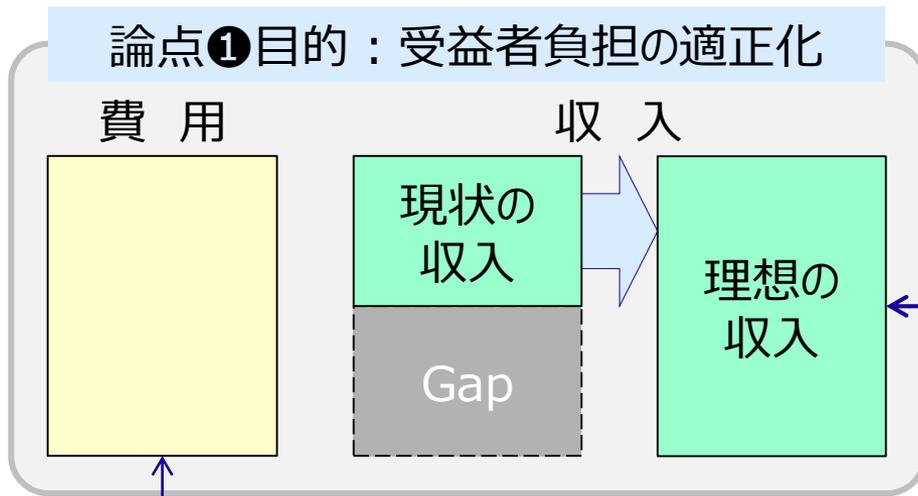
株式会社フューチャー・マネジメント・アンド・イノベーション・コンサルティング



Future Management & Innovation Consulting

担当部門（例：市民課）	
費用	仕事（役割）
<b>人件費</b> 職員の給与、賞与と福利厚生費、交通費  アルバイト、嘱託職員への給与、交通費	<b>対価をもらう市民サービス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民票 発行</li> <li>・ 印鑑登録証明書 発行</li> <li>・ 戸籍謄本抄本 発行</li> <li>・ パスポート 発行</li> <li>・ マイナンバーカード 発行</li> <li>etc</li> </ul>
	<b>対価を取らない市民サービス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 婚姻届け</li> <li>・ 出生届</li> <li>・ 転入・転出届</li> <li>etc</li> </ul>
<b>設備費</b> （複写機など） 変動費（消耗品費等）	<b>戦略・企画・管理の仕事</b>

土地、建物等の費用は除外する？  
 （これらには、災害対応拠点等、当該サービスと別の価値がある）



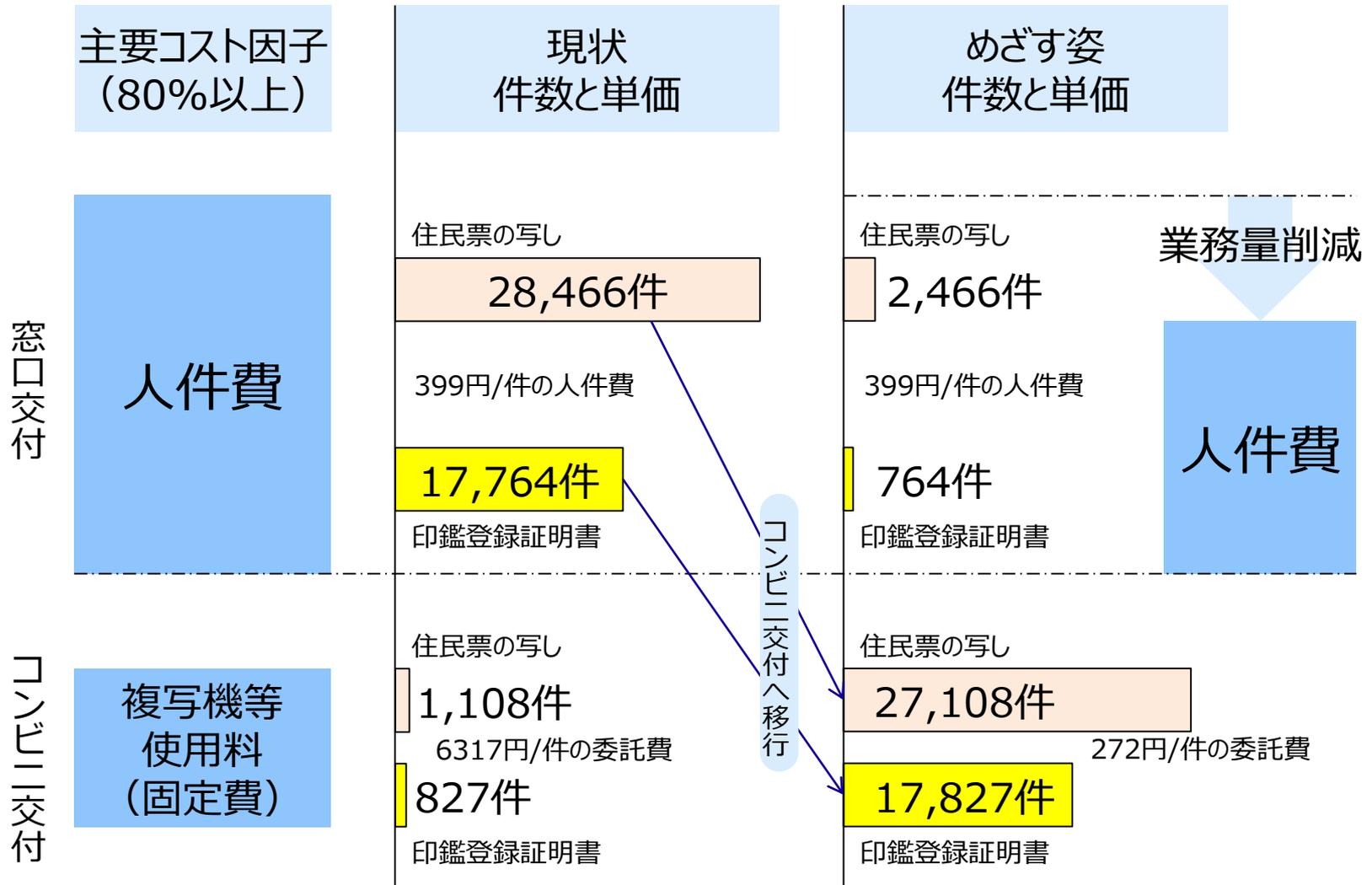
**対象サービスの費用算定の考え方**  
 論点②費用算定するサービスの単位  
 論点③費用算定する対象費目  
 論点④人件費に含める費目

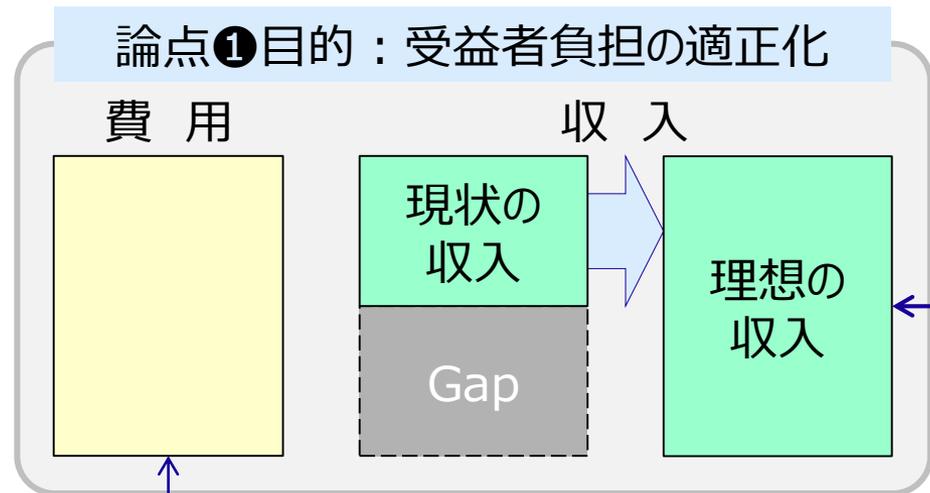
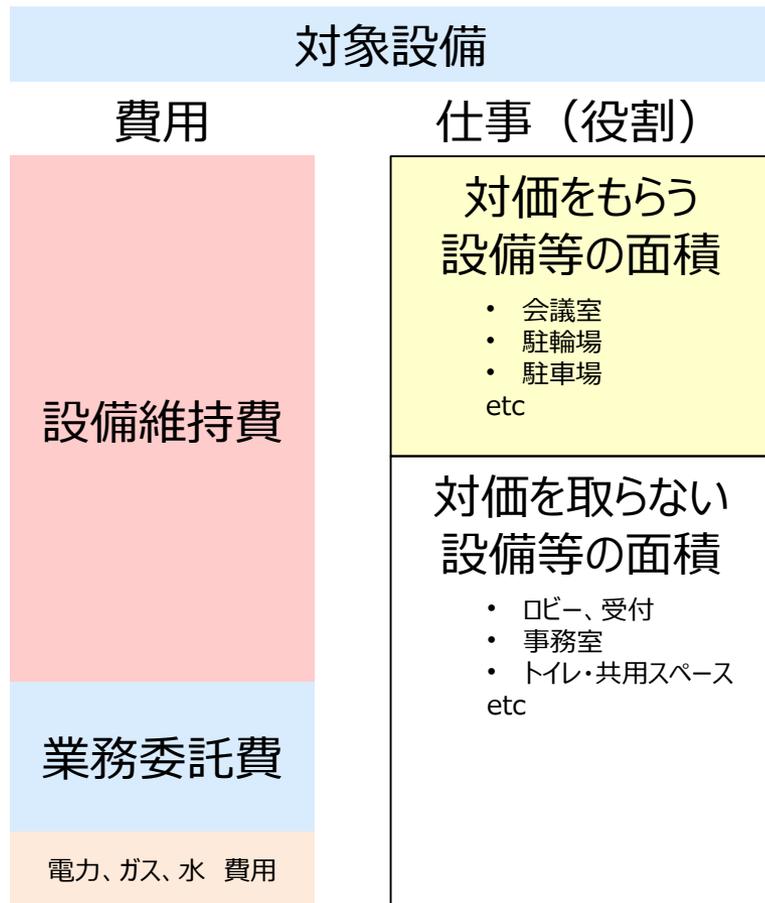
論点⑤サービスの原価の単価の考え方  
 （従量費用／固定費用）

論点⑥行財政改革として目指すこと  
 論点⑦手数料の単価の考え方

論点⑧その他

目指す事：コンビニ交付拡大による窓口業務削減⇒未来創り業務への職員業務シフト





対象サービスの費用算定の考え方

論点②費用算定するサービスの単位

論点③費用算定する対象費目

論点④人件費に含める費目

論点⑤サービスの原価の単価の考え方  
(従量費用／固定費用)

論点⑥行財政改革として目指すこと

論点⑦手数料の単価の考え方

論点⑧その他